



REV	日付	内容
1. 0	2015 年 8 月 26 日	初版
1.1	2015 年 10月 29 日	CD22_SP1a 対応
1. 2	2016 年 4 月 25 日	CD22_SP2 対応
1. 3	2016 年 10 月 14 日	CD23 対応
1.4	2016 年 11 月 29 日	CD23_SP1 対応
1. 5	2018年10月30日	CD23_SP2a 対応



こちらの説明書は、CD-ROM を用いて JTAG テクノロジーズ社製 "JTAG テスト/ISP システム" (ノードロックライ センス)を PCに初めてインストールする場合のインストール手順について記述したものです。 この説明書では、以下の要項にて説明させて頂きます。

- 1. 用意して頂くもの
- 2. ソフトウェアツール・インストール手順
- 3. ハードウェアドライバ・インストール手順
- 4. ハードウェアの接続
- 5. バウンダリスキャン・コントローラの登録

インストールについてのご質問等については、弊社宛にご連絡下さいますようお願い申し上げます。

尚、本説明書は、2016年10月時点での製品名称で説明させて頂いております。

製品名称や画面は納品時期によって若干異なりますので、予めご了承くださいますよう、お願い申し上げます。

## 1. 用意して頂くもの

○ホストコンピュータ(以下の条件を満たす必要があります)

- ▪PC/AT 互換機
- •OS:Windows XP、7 、8
- ・CD-ROM ドライブ
- ・ハードディスク空き容量:1GB 以上
- ・メモリ:2GB(3GB 以上推奨)
- ・USB ポート、またはプリンタポート(ハードウェア・キー用)
- ・USB ポートx1、もしくは LAN ポートx1、もしくは Firewire ポートx1 (バウンダリスキャン・コントローラ用)

○ソフトウェア(CD-ROM により供給されます)

Boundary-scan test and in-system programming software

[注記] ライセンスファイルはインストール時にハードディスクの任意の保存場所から選択して下さい。 (ライセンスファイルは、デフォルト設定で以下のフォルダにインストールされます。)

#### C:¥Bst32¥JTAGIm

複数のシステムを御導入頂いている場合、各ライセンスは CD-ROM 内の各ハードウェア・キーのシリア ル番号と同じフォルダ内に御座います。ご使用になります PC に接続するハードウェア・キーのシリアル 番号に対応したライセンスファイルをご使用下さい。

USB Key

(出荷時期により外観が異なります)

〇ハードウェア

・バウンダリスキャン・コントローラ(一式)

・ハードウェア・キー

2. ソフトウェアツール・インストール手順

ここでは、

OS :Windows 7を使用

Cドライブ :JTAG アプリケーションをインストールする HDD

とした場合について、説明させて頂きます。

インストール作業中に、ユーザー アカウント制御ダイアログが表示された場合は、 「はい」を選択してください。

(1)下記の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして下さい。

Boundary-scan test and in-system programming software

(2)自動的に以下の画面が表示されます。

(こちらの画面は、数秒で切り替わります)



- 2.1 ソフトウェアのインストール
- (1)自動的に以下のソフトウェア/ハードウェアをインストールする画面に切り替わります。項目「Software」の「Boundary-scan Software」の「Install」ボタンをクリックして下さい。

JTAG Technologies We are boundary-scan.		
JTAG Technologies Boschdijk 50 5612 AN Eindhoven The Netherlands www.jtag.com	Software Boundary-scan Software License Server	Install
	Hardware Boundary-scan Drivers	Install
TAG Technologies	B	xplore Close

(2)ライセンスファイルを選択する画面が表示されます。

ライセンスファイルを用意する
 ライセンス・キーの番号と一致するライセンスファイルを用意してください。
 ライセンスファイルは、弊社から CD-R またはメールで提供されます。

2) ライセンスファイルの選択

ボタンをクリックしてライセンスファイルを選択して下さい。

(1) USB Key $\rightarrow$ jtag.lcs	JTAG Technologies	
	Boundery-Scan Software Please follow the steps below	
	1) Obtain license Contact JTAS Technologies to obtain your node-locked li	cense
	2 ) Select license file or server name	
	License File:	
	O Server Name:	Port:
	3 ) Change license system	
	License System:	•
	JTAG Technologies	
		Next > Cancel
ミノトンシュニノの形式を選切		

3) ライセンシステムの形式を選択

『Change license system』からライセンスシステムの形式を選択し、「Next >」ボタンをクリックして下さい。

(1) USB Key  $\rightarrow$  Sentinel RMS (AS)

ライセンスファイルは、デフォルトで自動的に下記のフォルダへ保存されます。

#### C:¥Bst32¥JTAGIm

「Next」ボタンをクリックして下さい。

(3)次の画面が表示されますので、「<u>N</u>ext >」ボタンをクリックして下さい。



(4)ライセンスについての確認のメッセージが表示されます。内容を確認された上、「I Agree」ボタンをクリックして 下さい。



(5)プログラムフォルダー名が表示されます。「Next>」ボタンをクリックして下さい。



(6)<u>別紙「インストールするソフトウェアの選択について」</u>を参考にしてインストールするソフトウェアのチェックボッ クスにチェックを付けて「<u>N</u>ext>」ボタンをクリックして下さい。また、インストールするソフトウェアのショートカット をデスクトップに作成する場合は、最下の「Create Desktop Icons」にチェックを付けてください。

JTAG Technologies - CD22 Apr 2015 (AS) Setup	
Boundary-Scan Software Choose which Boundary-Scan applications you want to install.	
V JTAG ProVision Development     V TEST     V FLASH     V DtD     V JTAG Classic Development     V Production Packages     V Diagnostic Tools     V Optional Tools     V Create Desktop Icons	
Description Optional Tools JTAG Technologies	Next > Cancel

(7)以下の画面は、インストール先のディレクトリ名を変更したい時に使用いたします。
 ディフォルトでは、「c¥Bst32」というフォルダにソフトウェアがインストールされます。
 確認後、「<u>Next>」ボタンをクリックして下さい。</u>

Choose Install Location	
Choose the folder in which to install JTAG Technologies - CD22 Apr 2015 (AS).	TECHNOLOGIE
Setup will install JTAG Technologies - CD22 Apr 2015 (AS) in th different folder, click Browse and select another folder. Click N	e following folder. To install in a lext to continue.
Dactionation Folder	
Describation folder	
E:¥Bst32	Browse
EVeni2	Browse
ITAG Technologies	Browse

(8)これまでに選択した内容、インストール先ディレクトリ等が表示されます。

確認後、「Install>」ボタンをクリックして下さい。インストールが開始されます。

TAG Technologies - CD22 Apr 2015 (AS) Setup	JTAG Technologies - CD22 Apr 2	015 (AS) Setup	
JTAG Technologies - CD22 Apr 2015 (AS) Review settings before copying files. Selected Packages: BST32 PATH: C:WBst32 Python PATH: C:WPython31¥ LabViEW PATH: C:WPygram Files (x86)Whational InstrumentsW.abView LabViEW PATH: C:WPygram Files (x86)Whational InstrumentsW.abView LabVietW PATH: C:WPygram Files (x86)Whational InstrumentsW.abView LabVietW PATH: C:WPygram Files (x86)Whational InstrumentsW.abVietwows Attum Designer Winter 09 STIEP PATH: C:WPygram Files (x86)Whational Designer Winter 09 Cadence Concept HoL (CDS) STIEP PATH: C:WPygram Files (x86)Whational Designer Winter 09 Cadence Concept HoL (CDS) STIEP PATH: C:WPygram Files (x86)Whational Designer Winter 09 Cadence Concept HoL (CDS) STIEP PATH: C:WPygram Files (x86)Whational Designer Winter 09 Cadence Concept HoL (CDS) STIEP PATH: C:WPygram Files (x86)Whational Designer Winter 09 Cadence Concept HoL (CDS) STIEP PATH: C:WPygram Files (x86)Whational Designer Winter 09 Cadence Concept HoL (CDS) STIEP PATH: C:WPygram Files (x86)Whational Designer Winter 09 Path Designer Winter 09 PATH: C:WPygram Files (x86)Whational Designer Winter 09 Cadence Concept HoL (CDS) STIEP PATH: C:WPygram Files (x86)Whational Designer Winter 09 Cadence Concept HoL (CDS) STIEP PATH: C:WPygram Files (x86)Whational Designer Winter 09 Cadence Concept HoL (CDS) STIEP PATH: C:WPygram Files (x86)Whational Designer Winter 09 Path Distributer (X80) STIEP PATH: C:WPygram Files (X80) STIEP PATH: C:WPygram Files (X80) STIEP PATH: C:WPygram Files (X80) STIEP PATH: C:WPyg	Installing Please wait while JTAG Technologies - being installed. Extract: JTAppMemoryPi.dli 100% Show details	Python 3.4.3 Setup	Select whether to install Python 3.4.3 for all users of this computer. Instal for all users Instal for all users Instal just for me (not available on Windows Vista)
JTAG Technologies	JTAG Technologies	python windows	Back Next > Cancel

- (9) 選択されたオプションにより表示さる画面が変わります「Next>」ボタンをクリックしてください。
   ProVision では Python を利用しているため Python インストーラーが途中で起動する場合があります。
   この場合も「Next>」ボタンを押して下さい。
- (10) 「Finish>」ボタンをクリックしてください。



# 3. ハードウェアドライバのインストール手順

(1) 項目「Hardware」の「Boundary-scan Drivers」の「Install」をクリックして下さい。

JTAG Technologies - CD22 JTAG Technologies We are boundary-scan.	Apr 2015 Setup
JTAG Technologies Boschdijk 50 5612 AN Eindhoven The Netherlands www.jtag.com	Software Boundary-scan Software Install License Server Install
	Hardware Boundary-scan Drivers Install
JTAG Technologies —————	Explore Close

(2) インストールするハードウェアドライバのチェックボックスにチェックを付けて、「<u>Install></u>」ボタンをクリックして下さい。

JTAG Technologies - Driver Setup
Boundary-Scan Drivers
Choose which Boundary-Scan drivers you want to install or upgrade.
JT 3705/LPT Driver         Y JT 3705/LSB Driver         JT 3710/LSB Driver         Y JT 3720/LYBE LOWER         Y JT 3720/LST / RML Drivers         Y JT 5725/LSB Driver         Y JTAG Live Controller USB Driver
Description Position your mouse over a component to see its description. JTAG Technologies Install Cancel

### (3)ハードウェアのドライバのインストールが開始されます。

JTAG Technologies - Driver Setup	
Installing Please wait while JTAG Technologies - Driver is being installed.	JTAG TECHNOLOGIES"
Installing JT3705/USB (FTDIChip FT2232) Driver	
Installing JTAG Live Controller USB (FTDIChip FT2232) Driver Installing JT3705/USB (FTDIChip FT2232) Driver	
JTAG Technologies	Next > Cancel

(4) インストールしたハードウェアのドライバを有効にするために「Reboot Now」にチェックを付け、 「<u>F</u>inish>」ボタンをクリックして下さい。Windows システムが再起動されます。

JTAG Technologies - Driv	ver Setup
JTAG	Completing the JTAG Technologies - Driver Setup Wizard
	Your computer must be restarted in order to complete the installation of JTAG Technologies - Driver. Do you want to reboot now?
	I want to manually reboot later
	< <u>B</u> ack <b>Einish</b> Cancel

また、「I want to manually reboot later」をチェックし、「<u>F</u>inish>」ボタンをクリックすると、手動での再起動が 必要となります。

# 4. サービスパックのインストール

JTAG Technologies 社は製品の品質向上のため、年間保守契約を結んで頂いたお客向けに、ツールのサー ビスパックを提供しておりますので、合わせてインストールをお願いいたします。 また、この章で示された作業を行う前に、「2. ソフトウェアツール・インストール手順」と「3. ハ ードウェアドライバのインストール手順」を先に実施してください。

(1)下記の CD-R を CD-ROM ドライブにセットし、フォルダ「SP」からインストールしたツールのバージョンに合わせたサービスパックのインストーラー (CD23 の場合は CD23\_SP2a.exe)を実行してください。



以下の画面に切り替わりましたら、「Update」ボタンをクリックして下さい。



自動的にソフトウェアがインストールされます。インストールが完了したら「Finish」ボタンをクリックして下さい。



### 5. サービスパック Hotfix(20180226)ファイルのインストール

CD23SP2a は、ツールの Hotfix (20180226)を提供しております。ARMv8-M 対応の CoreCommander をご使用の 場合は、必ずインストールをお願いいたします。 (USB キー専用) また、この章で示された作業を行う前に、「2. ソフトウェアツール・インストール手順」と 「3. ハードウェアドライバのインストール手順」と「4. サービスパックのインストール」を 先に実施してください。

(1)下記の CD-R を CD-ROM ドライブにセットし、フォルダ「SP>CD23SP2a\_hotfix\_20180226\_as>BST32」の 内容をインストールされたフォルダ「BST32」にコピーしてください。



) > Bst32		✓ <sup>7</sup> B			
名前 ^	更新日時	住城			
2jtn	2018/10/30 20:	09 ファイル フォルダー			
activet	20	hatfix 20190225 at > Brt22			Re+20の検売
aexman	20	10tilx_20100220_as / bst52	$\sim$	÷ 0	DSIJ20/192 AR
h boards	20	名前	医新日時	種類	サイズ
bstlib	20	2jtn	2018/10/30 20:06	ファイル フォルダー	
cfrlib	20' 🚿	lib	2018/10/30 20:06	ファイル フォルダー	
Concept2snf	20' 🖈	ProVision	2018/10/30 20:06	ファイル フォルダー	
documents	20' 🖈	site-packages	2018/10/30 20:06	ファイル フォルダー	
e2prom	20' 💉	🗟 cortexv8a_jft.dll	2018/03/06 13:42	アプリケーション拡張	756 KB
examples	20	🚳 Hsl.dll	2018/01/12 13:44	アプリケーション拡張	944 KB
flashlib	20	🗟 jdi37x7.dll	2017/12/08 21:00	アプリケーション拡張	128 KB
fpman	20	🗟 jft.dll	2018/01/12 13:45	アプリケーション拡張	852 KB
		JftSerial.dll	2018/02/02 18:31	アプリケーション拡張	92 KB
		SFL37x7.dll	2018/01/10 0:20	アプリケーション拡張	88 KB
		SFL3710.dll	2018/01/10 0:20	アプリケーション拡張	84 KB
		SfI5705.dll	2017/12/18 18:52	アプリケーション拡張	88 KB
		VDF.dll	2017/04/08 2:04	アプリケーション拡張	40 KB

# 6. ハードウェアの接続と設定方法

6.1 JT3705/USB コントローラの場合

下図を参考にして、各ハードウェアを接続して下さい。



#### 6. 2 JT37x7/TSI(RMI)の場合

JT37x7/TSI コントローラを接続とホストコンピュータに Ethernet で接続する場合は USB または Firewire で接続 する手順に加えて IP アドレスの設定が追加で必要です。

6. 2. 1 JT37x7/TSIを USB または Firewire で接続する場合 下図を参考にして、各ハードウェアを接続して下さい。

ハードウェア・キー



### 6. 2. 2 JT37x7/TSIを Ethernet で接続する場合

PCと1対1で接続する場合の下図のように接続してください。Hubに接続して使用する場合は、Ethernetケーブル(ストレートケーブル)をご利用ください。



#### 6.2.3 IPアドレスの設定

JT37X7/TSIコントローラを Eternet 接続で使用する場合は、以下の設定が必要になります。 Eternet で使用する場合は、コントローラと PC を1対1で接続する方法とコントローラを Hub に接続して使用する 2通りの方法があります。

(1) PCと1対1で接続する場合

通常、LAN 環境で使用している PC は、以下の左の画面の様に IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得 する設定になっています。

PCとコントローラを1対1で接続して使用する場合は、DHCP サーバから IP アドレスを取得できないため、以下の 右の画面の様に IP アドレス、サブネットマスクを手動で設定する必要があります。

インターネット プロトコル パージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ 🛛 🔋 🗾 🏾	インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ
全般代替の構成	全般
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、PP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な PP 設定を問い合わせ てください。	ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ てください。
◎ IP アドレスを自動的に取得する(0)	◎ IP アドレスを自動的に取得する( <u>0</u> )
- ◎ 次の IP アドレスを使う(S):	<ul> <li>② 次の IP アドレスを使う(S):</li> </ul>
IP アドレス(I):	IP アドレス(I): 192 . 168 . 1 . 1
サブネット マスク(山):	サブネット マスク(山): 255 . 255 . 0
デフォルトゲードウェイ( <u>D</u> ):	デフォルト ゲートウェイ( <u>D</u> ):
◎ DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(E)	<ul> <li>DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)</li> </ul>
- ◎ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):	③ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):
優先 DNS サーバー(P):	優先 DNS サーバー(P):
代替 DNS サーバー( <u>A</u> ):	代替 DNS サーバー( <u>A</u> ):
○終了時(L設定を検証する(L) 詳細設定(火」)	■ 終 7時に設定を検証する(L) 詳純量設定(V)-
OK ++>>t/1	OK #*>±2/

上記の設定画面は、以下の手順で開くことが出来ます。

Windows 7 の場合:

- ① 「スタート」→「コントロールパネル」とクリックします。
- ② 表示方法:カテゴリから「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
- ③「アダプターの設定の変更」をクリックします。
- ④ 「ネットワーク接続」とクリックします。
- ⑤「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックし、プロパティをクリックすると、「ローカルエリア接続のプロパティ」のウィンドウが開きます。タブを「ネットワーク」にし、リストの中から「インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」をクリックで選択した後、「プロパティ」のボタンをクリックします。

Windows XP の場合:

「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワーク接続」とクリックします。

「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックし、プロパティをクリックすると、「ローカルエリア接続のプロパティ」 のウィンドウが開きます。タブを「全般」にし、リストの中から「インターネットプロトコル(TCP/IP)」をクリックで選択 した後、「プロパティ」のボタンをクリックします。 (2) Hub に接続して使用する場合

JT37X7/TSIコントローラの IP アドレスのデフォルト値は、『192.168.1.20』になります。

ネットワーク上の PC とコントローラの IP アドレスが重複している場合は、コントローラの IP アドレスを他の PC で 使用していないアドレスに変更する必要があります。

変更手順は、

① USB、Firewire、クロスケーブルの何れかにて PC とコントローラを1対1で接続します。

② PC の IP アドレス、サブネットマスクを手動で設定します。(上記(1)の設定をご参照ください。) 但し、IP アドレス変更後は、元の設定に変更する必要があります。(上記の画面左の設定)

③ DOS プロンプトより下記のコマンドを実行します。

TCU.EXE -a<interface><nr>[-wi<ip-address>][wd<0|1>]

●-a<interface><nr>
 PC と接続したインタフェースの種類とモジュール番号(通常は 0)を入力します。
 ●[-wi<ip-address>]
 変更する IP アドレスを入力します。
 ●[wd<0|1>]
 DHCP サーバを使用するか否かの設定をします。必ず"0"を設定してください。

0: 0FF

1: ON ←この設定は使用しないでください。

# ※ON の設定では、DHCP サーバが適当な IP アドレスを設定してしまうため、

必ず OFF に設定するようにしてください。

例:

- 1. TCU -aUSB0 -wi192.168.1.21 -wd0
- 2. TCU -aFW0 -wi192.168.1.21 -wd0
- 3. TCU -aETH192.168.1.20 -wi192.168.1.21 -wd0
- 1. は USB 接続で IP アドレスを 192.168.1.21 に設定
- 2. は Firewire 接続で IP アドレスを 192.168.1.21 に設定
- 3. は Eternet 接続で IP アドレスを 192.168.1.20 から 192.168.1.21 に設定

#### ※IP アドレス変更後は、新しい設定が反映させる為、一度コントローラの電源を入れ直して下さい。

④ 使用になるJTAGツールの各 GUI で変更後の IP アドレスを設定します。
 設定方法は、項目6. で後述します。

### 7. バウンダリスキャン・コントローラの設定

ここでは、既に作成された JTAG ProVision のプロジェクトから、接続したバウンダリスキャン・コントローラ に合わせて設定を変更する方法について説明いたします。

※JTAG ProVision の操作方法の詳細につきましては、別紙の日本語マニュアルをご参照ください。 また、弊社では、お客様のご要望に応じて JTAG ProVision 実践セミナーを開催いたします。

### 7.1 バウンダリスキャン・コントローラの種類と接続方式の選択

(1) JTAG ProVision のメニュー「**Instrument**」から「**Properties**」をクリックして下さい。

いずれかを選択した後、マウスを右クリックして表示されるメニューより、「Test Infrastructure」、 もしくは「Execute」を選択してください。

🧱 JTAG ProVision – C:¥Bst32¥ProVis	io	n¥projects¥	jt2153	- [000	)1 – F	inish	ed ir	nter	
<u>Project Board D</u> evice Type <u>A</u> pplicatio	n	Instrument V	<u>W</u> indow	<u>T</u> ools	<u>H</u> elp				
] 🔨 🖨 🔚 ] 🗞 🔗 🗙 ] 🗄 🖽 🤤	b i	<u>P</u> ropertie	es	辑	₩ [		1	*H -	ŧ
🗊 📲   🛐   🗢 🗢 🤹 🕍 🕨		<u>C</u> onfigur	ation	I 💻	•	- 22	$\mathbb{Z}$	æ	
」ヽ₽₩」%%×」⊟□₽ ]〗๚」₽	•	<u>P</u> ropertie <u>C</u> onfigure	ation			•1 77	₩ 22		

(2) 次の画面が表示されます。この画面はコントローラの設定画面となります。

『Instrument:』の、欄からホストコンピュータ (PC/AT 互換機)に接続された、

バウンダリスキャン・コントローラの型番を選択してください。

※コントローラの接続方式は、この段階では無視してください。

ma Instrument Properties			? ×	
Preferred Instrument:	JT3705/USB Explorer			
Instrument Properties:	JT3705/USB Explorer			•
🗖 Make Preferred	JT3705/USB Explorer			
IGT/FPT Instrument:	JT3705 Explorer JT3710 DataBlaster			
Interface Operatio	JT3707 DataBlaster JT3717 DataBlaster 8MB JT3727 DataBlaster 16MB FT2232 Controller			
Interface: USB	▼ Port or Instance: 0	usb0		
Edit TCK Ranges				
Reset all Application	ns to use default instrument settings		,	* Default Settings
F Reset all Applicatio	ns to Preferred Instrument		ОК	Cancel

次に、コントローラとの接続方法を選択します。

(3) コントローラとの接続方法を選択します。

『Interface』の欄から、ホストコンピュータ (PC/AT 互換機)に接続された、

バウンダリスキャン・コントローラとの接続方式を選んでください。

🞆 Instrument Proper	ties	? ×
Preferred Instrument:	JT3705/USB Explorer	
Make Proferred		
IGT/FPT Instrument:	<none></none>	<u>v</u>
Interface Operatio	ns   TCK/Gang *   Pod *   TAP *	
Address Interface: PCI PCI PXI cPCI PCIe ETH USB FW	Port or Instance: 0 pci0	
Edit TOK Ranges		
🔲 Reset all Applicatio	ns to use default instrument settings	* Default Settings
F Reset all Application	ns to Preferred Instrument	OK Cancel

#### JT3705/USBとFT2232の場合:

USB しか選択できません。

#### JT3705 Explorer の場合:

LPTしか選択できません。

#### JT3710 DataBlater の場合:

適切な接続方式を選択してください。

#### JT37x7 DataBlater で Ethernet 接続以外の場合:

適切な接続方式を選択してください。

#### JT37x7 DataBlater で Ethernet 接続する場合:

① 『Interface』欄から『ETH』を選択してください。

② 次の画面が表示されます。

コントローラの IP アドレスを変更した場合は、Port of Instance 覧に、 変更したアドレス値を入力してください。

Instrument Proper	ties	<u>? ×</u>
Preferred Instrument:	JT3705/USB Explorer	
Instrument Properties:	JT3707 DataBlaster	<b>_</b>
🥅 Make Preferred		
ICT/FPT Instrument:	<none></none>	<b>_</b>
Interface Operation	ns   TCK/Gang *   Pod *   TAP *	
Address Interface:	Port or Instance: 192.168.1.20 eth192.168.1.20	
Edit TCK <u>R</u> anges		
Reset all Applicatio	ns to use <u>d</u> efault instrument settings	* Default Settings
🔲 <u>R</u> eset all Applicatio	ns to Preferred Instrument	<u>O</u> K <u>C</u> ancel

次に TAP 電圧の設定を行います。

# 7.2 TAP (テストアクセスポート) 電圧の変更方法

TAP 電圧を変更する場合、「TAP」タブをクリックし、「TAP Voltage」欄の TAP の電圧を変更してください。

※口All TAPs のチェックを外しておいてください。

Instrument Properties
Preferred Instrument: JT3705/USB Explorer
Instrument Properties: JJ13/1/ DataBlaster 8MB
Make Preferred
ICT/FPT Instrument:  None>
Interface Operations TCK/Gang * Pod * TAP *
TAP Power       TAP States         Do NOT set voltage, assume TAPs enabled       TAP state assumed before execution:         Leave TAPs enabled after execution       TAP state forced after execution:
TAP Voltage     Input Threshold       All TAPs     Output Level     Input Threshold       TAP:     1     Image: Set:     3.3
☐ Reset all Applications to use default instrument settings * Default Settings
Reset all Applications to Preferred Instrument         OK         Cancel

#### TAP チェンネルの切り替えボタン『▲』をクリックすると、TAP2 に切り替わります。

Instrument Properties
Preferred Instrument: JT3705/USB Explorer
Instrument Properties: JT3717 DataBlaster 8MB
Make Preferred
ICT/FPT Instrument:  None>
Interface Operations TCK/Gang * Pod * TAP *
TAP Power TAP States TAP States TAP set assumed before execution: TLR TAP state assumed before execution: TLR TAP state forced after execution: RTI
TAP Voltage     Input Threshold       All TAPs     Output Level     Input Threshold       TAP:     2     2     V
☐ Reset all Applications to use default instrument settings * Default Settings
☐ Beset all Applications to Preferred Instrument

# 7.3 バウンダリスキャン・コントローラの選択と TAP 電圧の変更の反映

- ① 「■Make Preferred」にチェックを付けて下さい。
- ②「OK」ボタンを押して下さい。

Instrument Proper	ties ?	Ľ
Preferred Instrument:	JT3705/USB Explorer	
Instrument Properties:	JT3717 DataBlaster 8MB	•
🔽 Make Preferred		
ICT/FPT Instrument:	<none></none>	3
Interface Operation	ns   TCK/Gang *   Pod *   TAP *	
TAP Power Do NOT set vo Leave TAPs en TAP Voltage All TAPs TAP: 2	TAP States   TAP state assumed before execution:   TAP state assumed before execution:   TAP state forced after execution:   RTI     Output Level   Input Threshold   Set:     3.3   V	
Reset all Applicatio	ons to use <u>d</u> efault instrument settings * Default Setting	gs
🔲 <u>R</u> eset all Applicatio	ons to Preferred Instrument QK Cancel	